

令和元年

第4回仙北市議会臨時会

市 政 報 告

仙 北 市

令和元年第4回仙北市議会臨時会 市政報告

令和元年第4回仙北市議会臨時会の開会にあたり、各部局等の主要事項並びに諸般の状況についてご報告します。

【総務部】

◇総合教育会議について

7月4日、令和元年度第1回総合教育会議を開催しました。

案件は、児童・生徒の安全対策について、学校のあり方についてです。先ず、全国各地で、児童・生徒の通学時等における事件や事故が相次いで発生していることから、登下校時の安全対策について協議しました。

各機関、団体等による通学路安全推進協議会により、通学路の危険箇所の点検、改善を図るとともに、地域及びPTAの皆様による見守り隊の協力をいただきながら、地域を挙げて安全対策に努めていることを確認しました。

学校のあり方については、平成30年度の本市の出生者数が100人を割り98人となったことから、今後ますます児童・生徒数の減少が懸念される中、予定されている学校の大規模改修等のあり方について、教育環境を損ねることなく、将来を見通した学校の改修計画を慎重に検討することとしました。

◇庁舎整備事業について

昨年8月から11月に実施した地中熱採熱調査の良好な結果を受け、新角館庁舎地中熱利用設備工事の公告を7月16日に実施しました。予定価格は税込みで2億6,406万7,100円です。

入札参加形態は、「特定建設工事共同企業体」で「3者によるもの」とし、工種は給排水暖冷房衛生設備工事、等級はA又はB級、代表者と構成員1は主たる営業所が秋田県内、構成員2は主たる営

業所を仙北市、大仙市、仙北郡内としています。

開札は8月9日の予定となっています。

◇和解金請求訴訟の経過について

株式会社渡辺佐文建築設計事務所との和解金訴訟については、7月19日に最後となる14回目の弁論準備手続きが行われました。

今後の予定は、9月10日に証人尋問を行うことが確定し、争点としては、開業の遅れによる損害の有無と金額、覚書が錯誤であること、覚書は公序良俗に反するの3点です。

◇近未来技術等社会実装事業の選定について

政府は、まち・ひと・しごと創生総合戦略において、「近未来技術の社会実装による新しい地方創生を目指し、自主的・主体的で先導的な最も優れた施策について、地方創生推進交付金をはじめとする関係府省庁による支援を行う。」とし、地方公共団体より、近未来技術等社会実装事業を募集していました。

仙北市は、先に選定されている国土交通省スマートシティモデル事業に関連した内容でこれに応募し、7月3日付けで、近未来技術等社会実装事業に選定されました。

交通、エネルギー、観光、農業など、様々な分野で、近未来技術の活用による地域の課題解決を目指します。

◇仙北市SDGs・ユニバーサルシンポジウムについて

6月29日、角館樺細工伝承館を会場に仙北市SDGs・ユニバーサルシンポジウムを開催し、市内外から約150人が参加しました。

第1部はユニバーサルツーリズム関係で、日本ユニバーサルマナー協会理事の岸田ひろ実（きしだ ひろみ）さん、温泉ジャーナリストの山崎まゆみ（やまざき まゆみ）さんの講演で、それぞれの実体験を基にしたお話しをいただき、気づきの多い講演でした。

第2部はSDGs関係で、内閣府地方創生推進事務局参事官補佐の清水拓哉（しみず たくや）さんと市職員によるSDGsの制度や、市の取り組みなどの説明をしたほか、「SDGs・持続可能なまちづくり」と題して行われたパネルディスカッションでは、慶應義塾大学大学院教授の岸博幸（きし ひろゆき）さんをコーディネーターに迎え、仙北市商工会副会長の田口知明（たぐち ともあき）さん、仙北市男女共同参画推進委員会会長の坂本佐穂（さかもと さほ）さんから経験談を交えて持続可能な地域づくりなど貴重なお話をいただきました。最後には、お笑い芸人によるSDGsをネタにしたライブが会場を盛り上げていただきました。

議会の皆さんからも多くのご参加をいただき、誠にありがとうございました。

◇仙北市納税貯蓄組合連合会の解散について

7月23日、令和元年度仙北市納税貯蓄組合連合会総会が開催され、令和2年3月31日をもって連合会を解散することが議決されました。これは、仙北市納税貯蓄組合補助金が来年度から廃止されること、納税貯蓄組合員の減少や単位納税組合の解散、市県民税の公的年金からの特別徴収開始や市税のコンビニ収納開始等の納税環境の変化により、組織の総合的な発展が見込めなくなったことによるものです。

これまで、連合会が担ってきた「小学生の税に関する習字」の募集や、「中学生の税についての作文」の募集等の租税教育推進を、仙北市が継続して実施していくとともに、税収確保に、より一層努めます。また、補助金廃止や今後の手続きについて、仙北市から単位納税貯蓄組合長あてにお知らせします。

◇消防訓練大会について

6月30日、落合運動公園駐車場を会場に仙北市消防訓練大会を開催しました。市内、10の分団から小型ポンプ操法の部に21隊、

規律訓練の部に7隊が出場し、日頃の訓練の成果を競い合いました。

小型ポンプ操法の部では、第4分団1班が優勝、第5分団2班が準優勝、第4分団3班が第3位となり、規律訓練の部では、第9分団が優勝、第10分団が準優勝、第1分団が第3位となりました。

それぞれ上位3チームは、7月13日に開催された大仙仙北美郷支部消防訓練大会へ出場し、小型ポンプ操法の部では、第4分団1班が準優勝、第4分団3班が第3位という好成績を収めました。

【観光商工部】

◇秋田県誘致企業の認定について

6月28日、旧角館東地区公民館野球場跡地に腕時計の組み立て、修理を行う工場を整備する(株)セレクトラ角館事業所が、秋田県誘致企業に認定されました。同事業所は11月稼働を予定していて、2022年までに約20人を新規雇用し、売上高を現在の3割増の3億円規模にする計画と伺っています。

◇仙北市雇用確保対策連絡協議会について

7月11日、第1回仙北市雇用確保対策連絡協議会を開催しました。この協議会は、市内の労働力確保と労働力定着による市内企業の振興等を図ることを目的に設置し、市内企業代表4人の他、ハローワーク角館、仙北市商工会、仙北市シルバー人材センター、市内高等学校・支援学校、仙北地域振興局等から出席いただきました。

会議では、大仙・仙北管内の雇用情勢、各業界内での労働力確保対策等について意見交換を行い、企業代表委員からは、各業界内の業況に加え、それぞれの労働力確保の実情が報告されました。

今後も協議を重ね、緊急性が高く予算措置が必要な課題については、補正予算措置を講じて早急に対応していきたいと考えています。

◇地域おこし協力隊と外国人材の採用について

地域おこし協力隊2人と外国人1人の採用を決定し、いずれも観

光商工部への配属を予定しています。地域おこし協力隊のうち、一人は沖縄県出身の東風平蒔人（こちひら まきと）さんで、主にグリーンツーリズム及び農泊関連事業を、もう一人が東京都出身の岡本英彦（おかもと ひでひこ）さんで、主に日本版DMO登録に向けた事業の推進に取り組んでいただきます。

また、外国人は台湾の黄敏（ファン ミン）さんで、外国人材による地方創生支援制度を活用した事業で、訪日外国人旅行者の受入態勢の構築に向けた事業やイベントの際の通訳等で活動していただくこととなります。

3人とも秋には仙北市に赴任いただける予定で、活躍を期待しています。

◇観光プロジェクト推進会議について

7月25日、観光プロジェクト推進会議が開催されました。これは、日本版DMO登録に向けた取り組みを行うため組織され、DMO候補法人一般社団法人田沢湖・角館観光協会が開催したものです。今後は各部会などを通じ事業のメニュー化などが行われ、登録に向けた取り組みが加速するものと考えています。稼げる観光地に向けた取り組みを期待しています。

以上、主要事項並びに諸般の報告を申し上げます。本臨時会に提案している案件は契約関係1件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます、市政報告とします。